

取扱説明書

バーコードタッチリーダ (FMV-BCR215)

はじめに

このたびは、弊社のバーコードタッチリーダ (FMV-BCR215) (以降、本製品) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2018年3月

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」(→ P.4) をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

本製品は、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

梱包物を確認してください

本製品をご使用になる前に、次の物が梱包されていることをお確かめください。万一、破損や足りない物がございましたらおそれりますが、ご購入元にご連絡ください。

- バーコードタッチリーダ
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

マニュアルについて

- ・本製品の接続、バーコードの読み取り方について、本書をご覧ください。
- ・バーコードメニューについては、インターネット上の『バーコードメニュー』（<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ocr/manual/>）をご覧ください。

本書の表記について

■ 警告表示について

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご確認のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
FMV-BCR215	本製品
Windows 10 Home	Windows 10
Windows 10 Pro	
Windows 8.1	Windows 8.1
Windows 8.1 Pro	
Windows 8.1 Enterprise	
Windows 7 Ultimate	Windows
Windows 7 Enterprise	
Windows 7 Professional	
Windows 7 Home Premium	Windows 7
Windows 7 Starter	

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを表しています。

■ 商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。各製品は、各社の著作物です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017-2018

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

⚠ 警告

-  万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに本製品をパソコン本体のUSBコネクタから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
-  本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、ただちに本製品をパソコン本体のUSBコネクタから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
-  本製品を落としたり、カバーなどを破損したりしたときは、本製品をパソコン本体のUSBコネクタから抜き、パソコン本体の電源を切ってください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

- 清掃のとき、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。
- USB コネクタに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。
- 本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因となります。

△注意

- 本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。
- 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、本書などで指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
- 本製品の読み取り口を布でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、カバーが変形し、火災の原因となることがあります。風通しの良い状態でご使用ください。
- 読み取り口から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品のインターフェースケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電・火災の原因となります。
- 本製品のUSB コネクタを抜くときはインターフェースケーブルを引っ張らず、USB コネクタを持って抜いてください。
インターフェースケーブルを引っ張ると、芯線が露出したり断線したりして、火災の原因となることがあります。
- 本製品を振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本製品で、たたいたり、インターフェースケーブルを持ったりして振り回さないでください。
けがをしたり、故障の原因となったりすることがあります。



- ・ベンジン、シンナーで拭いたり、防虫剤をかけたりしないでください。
ひび割れ、引火の原因となることがあります。



- ・本製品の読み取り口から光源をのぞき込んだり、人の目に読み取り口を向けたりしないでください。
この光が目に入ると目の痛みなど、視力障害などを起こすことがあります。



- ・本製品をふろ場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

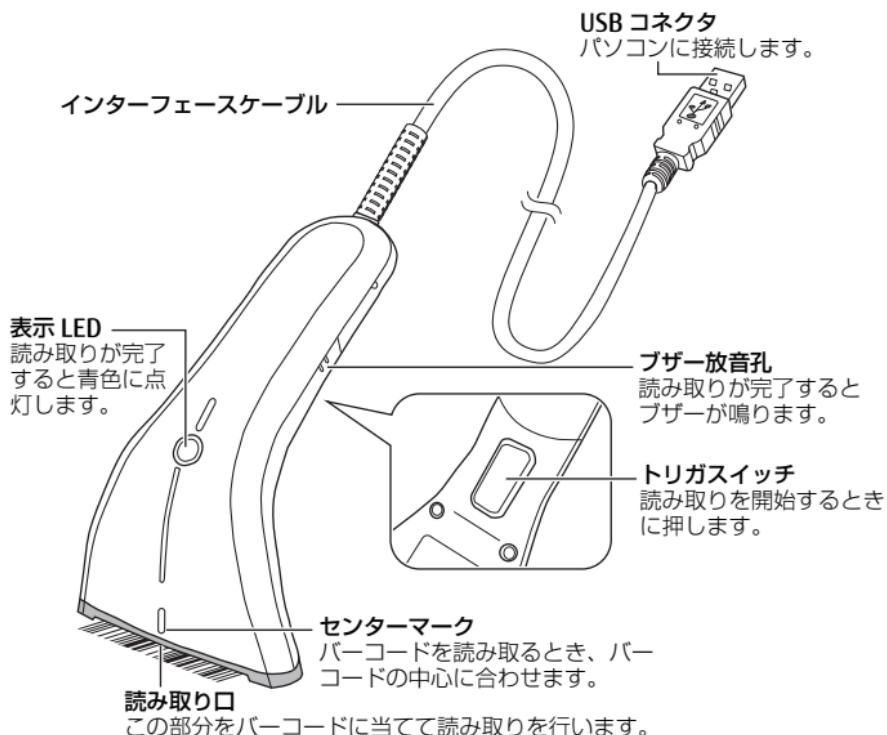


- ・ぬれた手でUSBコネクタの抜き差しをしないでください。
感電の原因となることがあります。



- ・インターフェースケーブルが痛んだら(芯線の露出、断線など)、「富士通ハードウェア修理相談センター」、または購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

1 各部の名称と働き



2 接続

動作環境

■ 対応パソコン

本製品は富士通製パソコンでお使いになれます。

対象機種については、富士通製品情報ページ内の「システム構成図」(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syuskou/>)をご覧ください。

■ 対応 OS

Windows 10、Windows 8.1、Windows 7

接続する

1 パソコン本体を起動します。

2 本製品の USB コネクタを、パソコン本体の USB コネクタに差し込みます。

必ず、スタート画面またはデスクトップ画面が表示されている状態で行ってください。

Windows の標準ドライバーで動作します。

※ 重要

▶ パソコンの電源が入っている状態で、USB コネクタの抜き差しは可能です。その場合、パソコンの USB 機器の認識および取り外しには、数秒から 10 秒程度かかる場合があります。USB コネクタの抜き差しは 10 秒以上の間隔をあけて行ってください。

ただし、パソコンがスリープ、休止状態中には、USB コネクタの抜き差しを行わないでください。

▶ 本製品の接続処理中に、他の USB 機器の抜き差しを行わないでください。

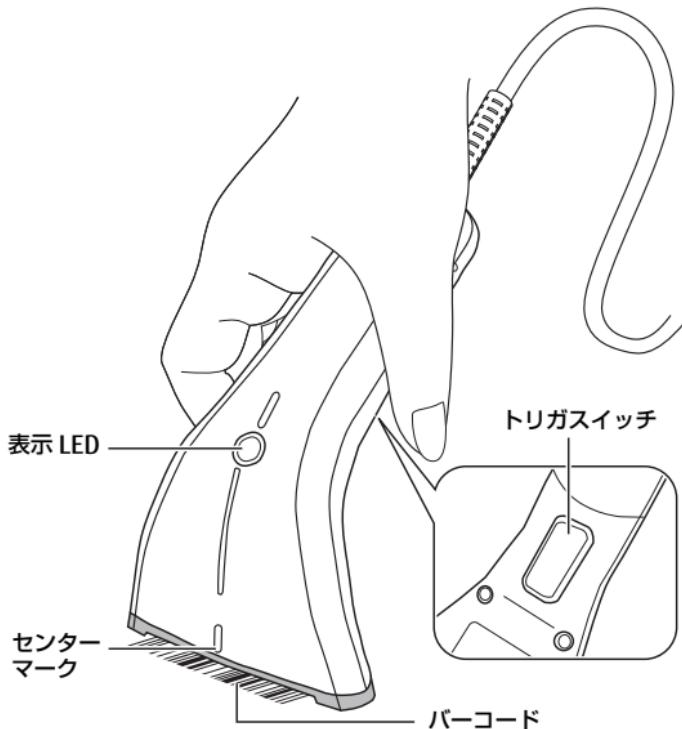
▶ インターフェースケーブルの延長は行わないでください。

▶ ハブ接続をする場合、USB では 5 段までの直列接続ができますが、実際の運用では 2 段までの直列接続をご使用になることをお勧めします。

3 読み取り方

バーコードの読み取り

- 1 本製品の読み取り口上部のセンターマークとバーコードの中心を合わせます。
- 2 トリガスイッチを押します。



- 3 読み取りが正常に完了すると、表示 LED が青色に点灯し、ブザーがピッ（短音 1 回）と鳴ります。

重要

- ▶ 読み取り口に対して、バーコードをできるだけ平らにしてください。
- ▶ 直射日光のもとや非常に明るい場所では、読み取りできない場合があります。
- ▶ バーコードは左右逆向きにしても読み取りできます。
- ▶ ビニール袋に入っているバーコードは、読み取りできない場合があります。その場合は袋から取り出して読み取りしてください。
- ▶ バーコード読み取り中には USB コネクタを抜かないでください。
- ▶ 連続読み取りモードに設定している場合に、同一のバーコードを 2 回以上続けて読み取るときは、約 1 秒間は本製品の読み取り口をいったん読み取ったバーコードから充分離し、表示 LED が消灯してから次のバーコードを読ませてください。
- ▶ キーボードとの同時操作は行わないでください。バーコードのデータとキーボードのデータが混在してしまい、バーコードのデータが正しく表示されなくなります。

トリガスイッチモード

■ オートオフモード

トリガスイッチを押してから約 5 秒間、読み取り口の照明光が点灯し、読み取り可能状態となります。

正常に読み取りが完了した場合、またはスイッチを押してから約 5 秒間経過した場合は、自動的に照明光が消灯し、読み取り待機状態となります。

ご購入時はこの設定になっています。

■ 連続読み取りモード

電源を入れてから照明光が点灯し、読み取り可能状態となります。トリガスイッチ機能はすべて無視されます。

4 バーコードメニューによるパラメーターの設定

バーコードの種類や各機能などのパラメーター設定は、バーコードメニューを読み取ることで選択できます。ご購入時の設定以外の機能で使用する場合は、バーコードメニューで設定を行ってください。

バーコードメニューによる設定方法は、『バーコードメニュー』をご覧ください。

「初期化」を設定すると、バーコードメニューで設定するすべての項目がご購入時の状態になります。ご購入時の状態は、「ご購入時の設定状態」(→ P.23) をご覧ください。

5 ブザー、表示 LED による状態通知

ブザーまたは表示 LED によって、本製品の状態を通知できます。

ブザー

■ ブザーによる状態通知

ブザーが鳴ることによって、本製品の状態を通知します。

バーコードメニューによっては、ブザーが鳴ることを禁止できます。

ブザー音 ^注	状態	
ピッ (短音 1 回)	読み取り完了	読み取りが正常に完了した場合に鳴ります。
ピーッピーッピーッ (長音 3 回)	エラー発生	チェックデジットエラーが発生(設定許可時)した場合に鳴ります。
ピッピッ (短音 2 回)	設定バーコードの読み取り正常	正常に設定バーコードを読み取ったときに鳴ります。
ピッピッピッ (短音 3 回)	設定バーコードの読み取りエラー	設定途中に無効なバーコードを読んだ場合または設定バーコードのエラーのときに鳴ります。

注：鳴り終わるまではトリガスイッチを押さないでください。

■ ブザー音量調整

バーコードメニューによって、音量を 3 段階に切り替えられます。

電源を切っても、最後に設定された状態は記憶されています。

ご購入時は音量「大」に設定されています。

表示 LED による状態通知

表示 LED の点灯パターンによって、OK の状態を通知します。

■ オートオフモード

読み取りが正常に完了したときに、約 0.5 秒間点灯します。

■ 連続読み取りモード

読み取りが正常に完了したときに、約 0.5 秒間点灯します。

6 インターフェース

POINT

- ▶ 本製品は、USB 2.0 に準拠しています。

USB キーボードインターフェース

USB キーボードインターフェースは、専用のドライバーを必要とせず、読み取ったデータをアプリケーションのカーソル位置に直接入力できます。

■ Caps Lock の状態

バーコードデータに英文字が含まれている場合、パソコンのキー入力モード (Caps Lock の状態) に合わせて、英大文字と英小文字を入れ替えて転送します。

ご購入時は、英大文字モード (Caps Lock ON) に設定されています。

パソコンの設定	本製品の設定	読み取りデータ	転送データ	パソコンの表示
Caps Lock ON	英大文字モード (Caps Lock ON)	a B	A b	a B
	英小文字モード (Caps Lock OFF)		a B	A b
Caps Lock OFF	英大文字モード (Caps Lock ON)	a B	A b	A b
	英小文字モード (Caps Lock OFF)		a B	a B

■ キーボードタイプ

使用するキーボードタイプ (106 キー／101 キー) を設定できます。

ご購入時は 106 キーに設定されています。

出力モード（転送フォーマット）

■ 転送フォーマット

転送データの並びは次のとおりです。

バーコードデータ	コードマーク	ターミネータ
----------	--------	--------

□ バーコードデータ

バーコードデータ転送フォーマットについては、「バーコードデータ」(→ P.15) をご覧ください。

□ コードマーク

バーコード体系を識別するための1文字コードでバーコードデータのすぐ後に付加します。

コードマークの出力（転送）が必要かどうかの設定ができます。

ご購入時は「出力する」に設定されています。

コードマーク	バーコード種別	コードマーク	バーコード種別
1	EAN-8/JAN-8 ^注	7	Standard 2 of 5
2	EAN-13/JAN-13 ^注	8	Interleaved 2 of 5
3	UPC-A ^注	9	CODE93
4	UPC-E ^注	A	CODE128、GS1-128（旧 EAN-128）
5	CODE39	B	GS1 DataBar（旧 RSS）ファミリ
6	CODABAR (NW-7)		

注： UPC/EAN アドオン付きのコードマークは、UPC/EAN コードとそれぞれ同一です。

□ ターミネータ

改行コードを転送（付加）します。

また、転送が必要かどうかの選択ができます。

ご購入時は改行コードを「付加する」に設定されています。

■ バーコードデータ

各バーコード種別の転送データの並びは次のとおりです。

読み込んだバーコードデータに対して、C/D（チェックデジット）の出力を行うかどうかを設定できます。

ご購入時はチェックデジットを「出力する」に設定されています。

□ **UPC-A**

0	データ (11 衍)	C/D
---	------------	-----

□ **UPC-E**

0	データ (6 衍)	C/D
---	-----------	-----

□ **EAN-13**

データ (12 衍)	C/D
------------	-----

□ **EAN-8**

データ (7 衍)	C/D
-----------	-----

□ **UPC/EAN アドオン付き**

UPC/EAN データ	アドオンデータ (2 衍または 5 衍)
-------------	----------------------

□ **Standard 2 of 5, Interleaved 2 of 5**

データ	C/D
-----	-----

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。本製品では、バーコード読み取り時に C/D の有無を選択できます。また、C/D ありの読み取り許可を選択した場合、その C/D の出力を行うかどうかの設定ができます。

□ **CODABAR (NW-7)**

スタートコード	データ	C/D	ストップコード
---------	-----	-----	---------

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。本製品では、バーコード読み取り時に C/D の有無を選択できます。また、C/D ありの読み取り許可を選択した場合、その C/D の出力を行うかどうかを設定ができます。

C/D の計算方法は、「モジュラス 16」または「7 チェック」を選択できます。また、スタート・ストップコードの出力を選択できます。

□ CODE39

スタートコード	データ	C/D	ストップコード
---------	-----	-----	---------

バーコードには、C/D（チェックデジット）が含まれているものと含まれていないものがあります。

本製品では、バーコード読み取り時にC/Dの有無を選択できます。

また、C/Dありの読み取り許可の場合、そのC/Dの出力を行うかどうかの設定ができます。

□ CODE93、CODE128、GS1-128（旧EAN-128）

スタートコードの次のキャラクタから、チェックデジットの前のキャラクタまで順に転送します。

スタート・ストップコード、FNCコードおよびチェックデジットは転送されません。ただし、CODE128とGS1-128では、次の場合でのFNC1は<GS>（1Dh）に変換されて転送されます。

- ・スタートコードの次のキャラクタがFNC1で、キャラクタ1以降にFNC1がある場合
- ・スタートコードの次のキャラクタがFNC1以外で、キャラクタ2以降にFNC1がある場合

チェックデジットの出力を行うかどうか設定ができます。

□ GS1 DataBar Omnidirectional（旧RSS-14）、GS1 DataBar Stacked（旧RSS-14 Stacked）、GS1 DataBar Truncated（旧RSS-14 Truncated）、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional（旧RSS-14 Stacked Omnidirectional）、GS1 DataBar Limited（旧RSS Limited）

01	データ
----	-----

□ GS1 DataBar Expanded（旧RSS Expanded）、GS1 DataBar Expanded Stacked（旧RSS Expanded Stacked）

データ

7 困ったときには

バーコードを正しく読み取りできない

確認事項	処置
バーコードの読み取り位置にバーコードが正しく当たっていますか。	バーコードを正しく読み取り位置に当てるください。「バーコードの読み取り」(→P.9)をご覧ください。
バーコードが汚れていませんか。	バーコードの汚れを拭き取ってください。
バーコードがかすれていませんか。	かすれていらないバーコードを使用してください。

バーコードの読み取りができない

確認事項	処置
読み取るバーコードが読み取り許可に設定されていますか。	読み取るバーコードを読み取り許可に設定してください。
バーコードにチェックデジットがないのに、読み取りコードがチェックデジットありに設定されていますか。	チェックデジットなしの読み取り許可に設定してください。
スキャンしたバーコードのチェックデジットが間違っていますか。	正しいバーコードを使用してください。
パソコンの省電力機能が動作中ではありませんか。	省電力機能を OFF にしてください。

バーコードのデータが正しくパソコンに表示されない

確認事項	処置
パソコンのキーボードが、本製品に設定されているキーボードタイプと異なっていますか。	パソコンと同じキーボードタイプ（コントロールパネルの「キーボード」にて確認できます）に設定してください。
キーボードのCaps Lockの状態と本製品の設定が異なっていますか。	キーボードの状態と本製品の設定を合わせてください。

確認事項	処置
かな漢字変換が機能しており、ローマ字かな変換されていませんか。または入力した文字列が全角文字になっていませんか。	パソコンを英数字半角入力モードに設定してください。
OS 標準のドライバー以外のドライバーを使用していませんか。	OS 標準のドライバーを使用してください。
キーボードと同時に操作をしていませんか。	バーコード読み取り時にはキーボードを押さないでください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、次のそれぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

■ ハードウェアの故障、修理

□ 法人、企業のお客様

「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・通話料無料 0120-422-297
- ・受付時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

□ 個人のお客様

「故障や修理に関する受付窓口」

- ・通話料無料 0120-926-220
- ・受付時間 9:00 ~ 19:00 (システムメンテナンス日を除く)

■ 技術的なご質問、ご相談

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」

- ・通話料無料 0120-950-222
- ・受付時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日およびシステムメンテナンス日を除く)
- ・受け付け後に、専門技術員からのコールバックとなります。
- ・おかげ間違いのないよう、ご注意ください。
- ・各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- ・システムメンテナンスのため、受付時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

8 日常のお手入れ

- ・読み取り口は、常にきれいな状態でご使用ください。
- ・清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- ・本製品の清掃のときには、乾いた布で拭くようにしてください。
- ・水および水性の溶剤やアルコールやシンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- ・内部保守の必要はありませんので、決して分解をしないでください。

9 本製品の廃棄

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/recycleinfo/>) をご覧ください。

■ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規則に従ってください。

10 仕様

項目	仕様
読み取り部	読み取りコード
	JAN 標準、JAN 短縮、EAN-13、EAN-8、UPC-A、UPC-E、UPC/EAN アドオン付き、Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5、CODE39、CODABAR (NW-7)、CODE93、CODE128、GS1-128、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked
	バーコードの桁数／倍率
	<ul style="list-style-type: none"> • NW-7：最小 3 桁、最大 41 桁（スタート／ストップコードを含む） • CODE39：最小 1 桁、最大 33 桁（スタート／ストップコードを除く） • Interleaved 2 of 5：最小 2 桁、最大 62 桁 • CODE93：最小 1 桁、最大 37 桁（スタート／ストップコードおよび 2 桁のチェックジットを除く） • Standard 2 of 5：最小 1 桁、最大 37 桁 • CODE128、GS1-128：最小 1 桁、最大 40 桁（スタート／ストップコードおよび 1 桁のチェックジットを除く） • GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Limited：14 桁 • GS1 DataBar Expanded：最小 1 桁、最大 74 桁、最大 10 セグメント • GS1 DataBar Expanded Stacked：最大 10 セグメント、最大 11 段 • JAN 標準、EAN-13、UPC-A：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 1.7 倍 JAN/EAN 13 桁、UPC-A 12 桁 • JAN 短縮、EAN-8、UPC-E：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 2.0 倍 JAN/EAN 8 桁、UPC-E 7 桁 • EAN-13/UPC-A 2 桁のアドオン付き：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 1.4 倍 EAN 15 桁 /UPC-A 14 桁 • EAN-13/UPC-A 5 桁のアドオン付き：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 1.2 倍 EAN 18 桁 /UPC-A 17 桁 • EAN-8/UPC-E 2 桁のアドオン付き：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 1.9 倍 EAN 10 桁 /UPC-E 9 桁 • EAN-8/UPC-E 5 桁のアドオン付き：基準寸法 (0.33mm) の 0.8 ~ 1.6 倍 EAN 13 桁 /UPC-E 12 桁
読み取り方向	バーコードの正逆いずれも読み取り可能
最小分解能	0.125mm
PCS 値	0.45 以上
読み取り距離	0 ~ 10mm ^注
読み取り角度縦（仰角）	±20° ^注

項目		仕様
読み取り部	読み取り角度横（傾角）	±3° 注
	光源	LED（赤色）
	読み取り確認	表示 LED（青色）、ブザー
インターフェース		USB 2.0（USB キーボードインターフェース）
入力電源	使用電源電圧	パソコン本体より供給（DC 5V）
	消費電流	100mA 以下
環境条件	使用温度・湿度範囲	0 ~ 40 ℃、10 ~ 90% RH（結露なきこと）
	使用照度範囲	10,000 lux 以下
外形寸法		W82×D146×H53mm (インターフェースケーブル含まず)
質量		約 165g

注：JAN 白黒 13 枠 JIS 標準ラベル使用時

ご購入時の設定状態

ご購入時のパラメーター設定は次表のようになります。バーコードメニューの「初期化」を設定すると、同じ状態になります。

ご購入時の設定以外の機能で使用する場合は、バーコードメニューで設定を行ってください。バーコードメニューについては、『バーコードメニュー』をご覧ください。

項目	設定値	
通信パラメーターの設定		
英文字モード（Caps Lock の状態）	英大モード（Caps Lock on）	
キーボード選択	106 キー	
ターミネータ	改行キーを付加する	
トリガスイッチモード	オートオフモード	
出力バーコード種別（読み取りコード種別）	出力する	
読み取り確認のブザー	鳴らす	
ブザー音量	大	
データ転送フォーマットの設定		
UPC-A、UPC-E、 EAN-13、EAN-8	読み取り設定	読み取る
	UPC／EAN アドンオン付の読み取り	読み取らない
	チェックデジット	出力する
Standard 2 of 5	読み取り設定	チェックデジット無しで読み取る

項目		設定値
Interleaved 2 of 5	読み取り設定	チェックデジット無しで読み取る
CODABAR (NW7)	読み取り設定	チェックデジット無しで読み取る
	チェックデジットの計算方法 (チェックデジット有りで読み取った場合)	チェック (スタートストップが aa,bb のときのみチェック)
	スタートストップコード出力	出力しない (データ部のみ)
	スタートストップチェック	チェックする
CODE39	読み取り設定	チェックデジット無しで読み取る
	スタートストップコード出力	出力しない
CODE93	読み取り設定	読み取らない
CODE128/GS1-128	読み取り設定	読み取る
GS1 DataBar	GS1 DataBar Ominidirectional, GS1 DataBar Truncated, GS1 DataBar Stacked, GS1 DataBar Stacked Omnidirectional の読み取り設定	読み取る
	GS1 DataBar Limited の読み取り設定	読み取らない
	GS1 DataBar Expanded, GS1 DataBar Expanded Stacked の読み取り設定	読み取る

専用モードについて

設定を変更する方法については、インターネット上の『専用モードに変更するバーコードメニュー』(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ocr/manual/>)をご覧ください。

11 付録

バーコードメニュー

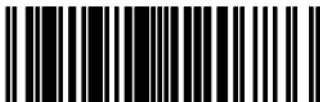
「初期化」以外のバーコードメニューについては、『バーコードメニュー』をご覧ください。バーコードメニューについては、インターネット上の『バーコードメニュー』(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/ocr/manual/>)をご覧ください。

■ 初期化



初期化

バーコードサンプルラベル



031323120786
UPC-A



4906906
UPC-E



4901567014010
EAN-13 (JAN 標準)



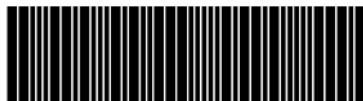
49400397
EAN-8 (JAN 短縮)



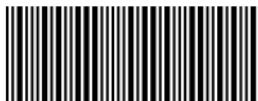
0440238 10
UPC-E 2-digit add-on



9780330290951 90000
EAN-13 5-digit add-on



0123457
Standard 2 of 5 Normal



1234565
Standard 2 of 5 Short



0123456784
Interleaved 2 of 5



b-\$:/0B
CODABAR(NW-7)
C/D= モジュラス 16



TESTE
CODE39



1G1AZ37
CODE93



121347
CODE128



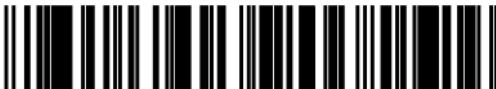
11970
GS1-128



(01)20012345678909
GS1 DataBar Omnidirectional



(01)15012345678907
GS1 DataBar Limited



(01)98898765432106(3202)012345(15)991231
GS1 DataBar Expanded



(01) 0 4265489 34598 1
GS1 DataBar Stacked



(01) 0 4568452 12386 0
GS1 DataBar Stacked Omnidirectional



(01) 0 4961414 19999 4 (10) 23456
GS1 DataBar Expanded Stacked

バーコードタッチリーダ（FMV-BCR215）取扱説明書

B6FY-4191-03-00

発行日 2018年3月 発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。